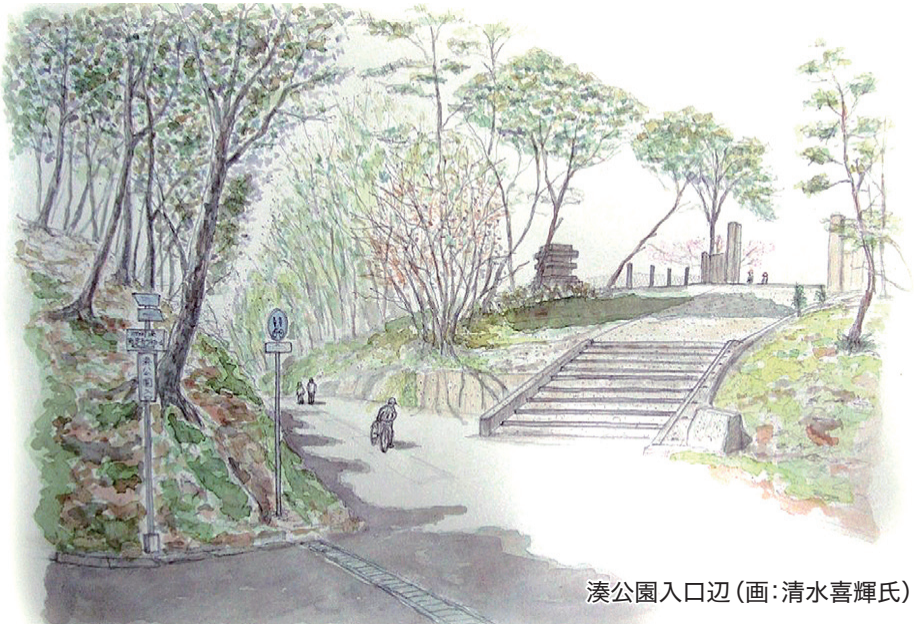




湊公園入口辺 (画: 清水喜輝氏)



**ロータリー：
変化をもたらす**

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

WEEKLY REPORT

No.2920 2018 年 4 月 2 日

事務所 ひたちなか市海門町二丁目 8-13 ひたちなか商工会議所那珂湊支所内
 TEL.029(263)7811 例会日 毎週月曜日 12:30
 FAX.029(263)6859 例会場 常陽銀行湊支店二階会議室
 URL : <http://www.nakaminato-rc.com/>

★ 点 鐘

磯崎久喜雄会長

国 歌 斉 唱

ロータリーソング「奉仕の理想」

司会 黒澤利勝幹事

素晴らしいこの花をあなたと一緒にまた愛でられたらいいのにな」去年の桜は一緒に見たけど、今年は一人で見ている、これは恋の歌ではなくて友達との話、友達に捧げる歌だったそうです。ゆく桜を惜しんでお話申し上げました。

★ 会 長 挨 拶

磯崎久喜雄会長

すっかり春になりまして、この季節になりますとこと桜が話題になります。

日本のことを「やまと」という呼称で呼ぶことがありますけれど「敷島の 大和心を 人間はば 朝日に匂ふ 山桜花」本居宣長の有名な歌、「朝日に匂ふ 山桜花」ということで、朝日に匂う桜花、桜の美しさ、そしてぱっと咲いてぱっと散るといいますか、散り際もあります。その桜のいつ咲き始めるのかな、いつ頃満開になるのかな。夕べの嵐で桜の花は、花びらは散ってしまったかなと絶えず気になってしまうということです。

古今和歌集に「世の中に たえて桜のなかりせば 春の心はのどけからまし」という歌もありますね。この桜の季節は心配でイライラする。花のことで心を煩わせて困るという歌なわけです。また山之上親王という人が居りまして、その親王の歌で「桜が満開に咲いていて大変きれいだ、

★ 幹 事 報 告

黒澤利勝幹事

1. 永年勤続表彰について

遊座文郎会員から栗田様、磯崎孝会員から津田様の2名が推薦されており、先程の理事会で、4月16日の観桜会の時に表彰すると決定いたしました。

2. 夜の例会について

先にも触れましたが4月16日(月)の例会は夜の例会「観桜会」となります。

3. 地区大会について

5月26日・27日つくば市にて開催されます。

26日はオークラフロンティアつくばで会長・幹事が、27日はノバホールで会員全員参加ということとなっておりますので、よろしくお願い申し上げます。

4. 出席免除申請について

金子会員から出席免除申請が提出されております。理事会で承認されました。

2. 4月29日に地区協議会が水戸プラザホテルで開催されます。関係委員長にはすでに連絡が行っていると思いますが、よろしくお願いいたします。

3. 当クラブのガバナー公式訪問の日程が決定いたしました。8月27日（月）ですので皆様のご協力をお願い申し上げます。

ニコニコボックス委員会

榎木直行委員長

★出席報告

榎木直行委員長

会 員 数	28名
出 席 者	14名
欠 席 者	12名
出席免除者	1名
メークアップ	6名
出 席 率	74.04%

転勤のご挨拶

白土周一会員



いわき市の株式会社 営洋という会社に出向いたします。2年間という短い間でしたが、大変皆様にはお世話になりました。那珂湊ロータリークラブの今後ますますのご発展を祈念し挨拶と致します。

★委員会報告

会員組織委員会

菊池眞一郎委員長



1. 3月24日（土）～25日（日）PETS（会長エレクト研修セミナー）に参加して参りました。



磯崎久喜緒会長…月例のニコニコです。

黒澤利勝幹事……月例のニコニコです。

磯崎 孝会員……桜の花も満開の季節となりました。今年もよろしくお願いいたします。

高田憲一郎会員…ご無沙汰しました。

根本隆会員……“巣立ちの春”孫が進学のため東京に行ってしまいました。淋しいです。白土周一会員……2年間お世話になりました。ありがとうございました。那珂湊ロータリークラブの益々のご発展を祈念申し上げます。

榎木直行会員…世間では新年度の始まり。希望を持って!!

鹿志村吉信会員…結婚記念日のお祝いありがとうございました。

菊池眞一郎…3月24日～25日PETSを受けました。

★卓 話

卓話「私の旅行歴について」Part II

宮崎一雄会員



本日は卓話ということで「日本の大企業」と題して用意してまいりましたが、時間も半端です。今回はこの前(2017年5月1日:週報第2886号参照)の残りのホテルの話をしようと思っています。

そもそもホテルが好きになった理由は20代後半に、ホテルオークラへ行ったら雰囲気がとても良くてすぐオークラのメンバーになりました。だいがオークラには泊まりました。色々なことがございましてオークラには良いイメージを深く持っております。そのオークラも前の建物はすっかりなくなってしまいました。今、建て替えをしているところであります。

戦前から日本のホテルといえばニューオータニと帝国ホテル、ホテルオークラが三大ホテルということになっておりますが、オータニの創業者はもともと相撲取りで、大谷重工業の金を残してああいところに土地を買って、あんな大きなホテルを造りました。ただ不思議なことにフランスのトゥールダルジャンという鴨料理の店があるんです。パリで有名な世界のランクとしてはトップランクです。ここの唯一の海外支店というのがホテルオータニにあります。何であんなホテルにトゥールダルジャンが出たんだと不思議に思いますけれども、一生懸命オータニの方で離さないのか、とにかく残っているんですね。本当にパリに行くとトゥールダルジャンというのは値段も高いし、ものすごく格式の高いお店な訳であります。何のことはない鴨料理で、ただ鴨に番号が振ってあって「今日の鴨は何番、何番ですよ」と何の意味があるのかさっぱりわかりませんが、そういうこともあってニューオータニについては不思議に思っているんですが、いずれにしても印象として、もともとが相撲取りですから、ただ金を残して大きな土地を買って大きなホテルを作ったというだけの印象です。僕の印象としてはあまりホテルの中では「ダメだ」ということであります。

それでホテルというと本場はやはりヨーロッパです。ヨーロッパも特にヨーロッパらしいというのはベネルクスだろーと思っております。ベルギーとネーデルランド、オランダですね、あとルクセンブルクです。

オランダのホテルで有名なのはホテル・ヨーロッパです。このホテルは非常に小さくて質素ですが、これがそれでランクが高いんですよ。どういうことなんだろうとなかなか理解できなかったのですが、それはオランダという国の国情なのかな、という感じもしますけれども、それにしてもヨーロッパらしいホテルで印象に残っているところです。

あともう一つオランダで印象的なのはマース

トリヒトという都市、これは昔、そんなに古くはないとは思いますが、EUに関する条約のマーストリヒト条約が締結された都市として有名です。古い都市で人口は12～3万人しかないんでしょうけれども、町の周りが全部城壁で囲まれてまして、その中にあるホテル、これがまた小さいんですけども、ただ知る人ぞ知るだろうと思いますが、ベルロンというホテルなんです。ここはヨーロッパの片田舎の小さな都市なのですが、ホテルの世界的ランクでは非常に上の方でして大変評価されています。先ほど言いましたホテル・ヨーロッパと同じような感覚で、やっぱり違うのかなと言うか、なかなか神髄の方は理解できません。

もう一つベネルクスのルクセンブルクという人口40万人ぐらいの国ですけども、ルクセンブルク市というのが丁度10万人ぐらいの都市で、溪谷、谷間が多くて平地がない。貧しい国のようではありますがヨーロッパの中では鉄鋼の設備は断然大きな物をもっております。どこに持っているかは分からないですけども、ヨーロッパにおける鉄鋼業のランキングではルクセンブルクはトップランであるといえます。これも不思議だなあという話ですが、その後多分転換をして、金融業でヨーロッパのトップクラスになっているんだろうと思っているんです。ルクセンブルクは王国ですから王様がホテルを持っているんです。国営のホテルです。これはもう立派でしたね。ル・ロワイヤルというホテルで、中は全体が黒の基調なんです。室内は明るい。それが印象に残っておりますが、何にしても非常にゆったりとしたいいホテルだなという感じです。

いずれにしてもヨーロッパのホテルというのは、王様の宮殿とか貴族の館とかそういうのが非常に多いんですけども、まあそれが後になってからも改築をくりかえし、味が出て来ていい感じになっていると思います。

代表的なのはベネチアにダニエリというホテルがあるのですが、これもやっぱり貴族の館で、中に泊まっては非常に不便なんですけれども、何となく味がある。これはやっぱり長い間伝統の中で培われた何物かだろうと思うのです。ここは今泊まろうとしても大変な人気で取れない、まず泊まれません。非常に人気があって泊まりたくても泊まれないというホテルということで非常に印象に残っております。

あと近所では僕の大好きなホテルとしては香港のペニンシュラ・ホテル。ペニンシュラは日本の日比谷に三笠会館の後にザ・ホテル東京を作りましたけれども、あれはダメですね。あれは全然ペニンシュラの良さを感じられないですけれ

ども、香港のペニシュラというのは、非常に洗練されたホテルで大好きなんです。香港では今は新しい大きなホテルが一杯建ちました。でもペニシュラは、第二次大戦前からあった世界に冠たるホテルだと思うんです。当時のその雰囲気はやっぱりイギリスの統治時代に作られたホテルという、ハイブローな感じがします。香港は中国の支配が入ってきて最近はおもしろくなくなってきてしまいました。が、イギリスの統治時代の香港というのは大変スマートだったんだなという感じがします。

ペニシュラでいいのは、例のアフタヌーンティがロンドンから持ってきた物、こらが大変盛んですね。アフタヌーンティはだんだん日本の方にも入ってきて、日本のホテルにもだいぶアフタヌーンティが盛っています。世の中年のおばさん方がほとんど独占しているようですが…。その元はどうもアジアの場合には、あのペニシュラのような感じがします。まああの様な良いホテルはだんだん少なくなってしまうのは非常に寂しい話ではありますが、何としてもあそこは大事にしていけたらという風に思います。

後は近所では、この前もちょっと話しましたが、ペニシュラの前に香港リージェントというホテルがありまして、今は名前がインターコンチネンタルに買収されたので名前が変わっているとは思いますが、このホテルが丁度ペニシュラの前に建っています。ペニシュラというのは九龍半島の突端に出来た一番ベストな地点だったのですが、その前に海の中にリージェントホテルが建てられた。それでペニシュラは泡を食って後ろに高いビルを建てて海が見えないようにしてしまいました。それがかえってペニシュラの良さをなくしてしまったと思います。リージョンは確かに海の中に建っている、日本ではとても許可になんかなるはずもない、海の中に土台を造って建っているんです。真正面に香港島との間の海峡を目の前に見て、本当にいい場所に造ったんですね。ただそのホテルは新しいリージェントホテルですから、いわゆる味が無いんですね。だから先ほど言ったようにホテルの味というのは、やっぱり誰が考えたか知

りませんが王様の宮殿とか、貴族の館などを元にしたというのが正しい提案だと思います。

あと大好きなホテルとしてはニューヨークのプラザ・ホテル、これはいいホテルですね。これは丁度、真四角であり背は高くはないんですけれども、1985年のプラザ合意、日本が「1ドル365円はひどいよ、変動相場制にするよ」ということを決めたホテルです。ここは本当に良いホテルです。それが今、何でホテルを止めたのか僕には全く分かりません。今は多分、分譲マンションか何かになっているんだろうと思うのですが、セントラルパークの入り口にあつて場所も良いし、丁度5番街と49丁目通りの交差点の本当に良い場所なのです。ここには僕はただの一回しか泊まったことがないんです。「あそこに何としても泊まるんだ」と言って行ったら、たまたま電話が繋がって、その時は違うホテルに泊まっていたのですが一泊だけ偶然にも体験してきました。本当にあんな良いホテルがなんで止めてしまうのか、未だに分かりません。

もう一つアジアで素敵なホテルだなと思うのはタイのジ・オリエンタル。これは確かに建物とかは決して立派ではなく、重みもないんです。ですが、タイという国の国情のせいだと思うんですが、よくタイをほほえみの国と言いますが、非常にホテルの従業員のスマイルが、本当に多くてとても好印象を感じます。

もう一つホテルの評価と言いますか好きになる理由として朝食が美味しい、食事が美味しいということがあります。そういう意味でこのジ・オリエンタルの朝食の美味しさは絶品です。何で美味しいのかはよく分からないのですが、本当に美味しい。良いホテルは朝食が美味しいというのは、なかなか結びつかないものなのです。ただこのジ・オリエンタルだけはびっくりしました。今でもその印象は強烈に覚えております。

そういうことでいろいろなホテルに行っていますが、まとまりがつかなくなってきました。中途半端で申し訳ありませんが、いずれはちゃんと整理をして情報を皆さんにお知らせしたいと思います。

今日はこの辺で止めさせていただきたいと思っています。ありがとうございました。



ロータリー：変化をもたらす

ROTARY: MAKING A DIFFERENCE

2017-18 年度国際ロータリー会長

イアン・ライズリー

Ian Riseley



「出席はロータリアンの3大義務の1つです」